

## 株主優待制度のご案内

当社では、当社株式への投資魅力を高め、より多くの方々に当社株式を中長期的に保有していただくことを目的に、株主優待制度を導入しています。

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上保有する株主さまを対象に実施します。

### ▶平成26年3月期株主優待制度の内容(実施済み)

#### 1 > カタログギフト

1,000株以上保有の株主さまには、地域の名産品等を掲載したカタログから、保有株式数に応じてお好みの商品をお選びいただくカタログギフト形式とします。

保有株式数	優待商品
1,000株以上3,000株未満	2,000円相当の名産品等を一点
3,000株以上5,000株未満	2,000円相当の名産品等を二点
5,000株以上10,000株未満	5,000円相当の名産品等を一点
10,000株以上	5,000円相当の名産品等を二点



#### 2 > オリジナル・クオカード

100株以上1,000株未満保有の株主さまには、一律、500円相当のオリジナル・クオカードを進呈します。

# 株主通信

第103期 **中間期**

平成26年4月1日～平成26年9月30日



セカンドステージを迎えた  
経営計画「Ambitious 5」の下、  
持続的成長へ向けた取り組みを  
さらに加速してまいります。



代表取締役社長 最高経営責任者  
石田建昭

株主の皆さまには日頃から温かいご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

当社グループの平成27年3月期上期(4月～9月)連結決算は、営業収益389億89百万円(前年同期比22.3%減)、営業利益112億50百万円(同39.0%減)、経常利益129億29百万円(同35.9%減)、四半期純利益84億98百万円(同41.3%減)となりました。アベノミクス相場に後押しされて過去最高の業績となった前年同期との比較では減収減益となりましたが、水準としては比較的良好的な成績を残すことができました。日本ならびに米国の株式市場が堅調に推移したことに加え、当社グループが継続的に尽力してきた収益拡大策やマーケット対応力強化の取り組みが実を結んだ結果と捉えております。

当社グループが平成24年4月より推進している5か年の経営計画「Ambitious 5」は3年目を迎え、今年度より、そのセカンドステージとして推進しております。事業環境が変化していく中、その基本理念は堅持しつつ、お客さまの利便性を高める新たな機能の取り込みやグローバルネットワークの充実を図り、独自性ある総合金融グループとして、「Leading Player in ASIA(リーディングプレイヤー イン アジア)」を目指しております。

株主の皆さまには引き続き一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

## 01.平成27年3月期上期の業績について

### 中長期的な戦略の推進による 安定した収益構造を実現

当社グループの中核会社である東海東京証券株式会社では、「Ambitious 5」セカンドステージにおける施策推進の一環として、「安定収益重視型営業」と「顧客セグメント別マーケティング戦略」を推進しています。

「安定収益重視型営業」では、従来のSMAサービス(投資一任契約の下、お客さまに代わって資産の運用・管理を行う資産運用サービス)の商品性及び利便性の向上を図ったうえで、「東海東京ファンドラップ口座」としての取り扱いを5月に開始し、順調に残高を増加させております。

一方、「顧客セグメント別マーケティング戦略」では、(1)富裕層、(2)富裕層に準じる成熟層、(3)資産形成層それぞれのお客さまに対応した、最適な商品・サービスを提供することにより、カスタマーロイヤルティの向上とお客さまの開拓・拡大に向け注力いたしました。

具体的な施策では、(1)首都圏地区における富裕層ビジネ

スの推進のため、「日本橋プレミアオフィス<sup>※</sup>」の設置、(2)成熟層に対し、①対面取引とインターネット取引の融合により、更に充実したサービスの提供を図るべく、「オムニチャネル戦略」の展開、②投資情報の提供(成熟層セミナー等を含む)や、さまざまなライフスタイルの提案をしていく会員制の「大人の投資倶楽部」WEBサイト<sup>※</sup>の開設、(3)資産形成層に対しては、①情報発信基地として、「東海東京フィナンシャルギャラリー・サカエチカ<sup>※</sup>」の新設、②インターネットによる信用取引サービスの開始<sup>※</sup>などを実施いたしました。

なお、営業ネットワークの効率的な運営を図るため、7月に津支店と鈴鹿支店を移転・統合して三重中央支店として新たに営業を開始、9月に岡崎市にあるショッピングモール内に「トヨタFS営業部 コンサルティングブース岡崎」を新設しました。

当社グループでは、海外の金融機関とのアライアンスを推進しており、8月に、商品・サービスの拡充を目的に、タイ王国のバンコック銀行傘下のブアルアン証券と業務提携を行いました。

また、7月に業容、時代の変化に対応すべく専門性と多様性を重視した新たな人事体系を導入しています。

なお、当社は当社グループの国内外での戦略強化に活かすため、グローバル・アドバイザー・ボードを設置することと

※平成26年10月に設置またはサービス開始。

### ▶連結業績ハイライト

営業収益	経常利益	四半期純利益	中間配当金
38,989百万円	12,929百万円	8,498百万円	14円
前年同期比 ▲22.3%	前年同期比 ▲35.9%	前年同期比 ▲41.3%	

しました。

こうした経営施策を着実に実行した結果、当上期も良好な経営成績を取ることができました。

この好業績は、当社グループがこれまで推進してきた中長期的な戦略・施策が奏功した結果でもあります。具体的には、ビジネスポートフォリオの多様化と証券会社の力の源泉であるマーケット対応力の強化を図ってきたことで、市況に左右されにくい安定した収益構造に転換しています。また、地方銀行とのアライアンス戦略を通じた営業基盤拡大からの連結業績に対する寄与が高まるとともに、証券ビジネスに必要なインフラ・機能・商品を中堅証券会社に提供するプラットフォームビジネスの進展は、当社グループの収益基盤の多角化とネットワークの拡充に貢献してきています。

証券会社が銀行など他の業態と異なるのは、マーケット環境への迅速な対応が強く求められることです。市場の変化を鋭敏に感知し、速やかな対応を取らなければ、お客さまのニーズに応えることも、業績を向上させることもできません。当社グループはこれまで、3つの経営計画を策定・実行して中長期ビジョンの具現化に取り組むと同時に、マーケットの

急激な変化に常に先手を打って対応し、チャレンジする経営姿勢を堅持してきました。こうした不断の取り組みが、企業体質の強化につながってきていると考えています。

## 02.「Ambitious 5」の進捗と中長期の展望

### 独自の存在感を持つ アジアのリーディングプレイヤーへ

「Ambitious 5」の下、地方銀行と共同で設立した合併証券会社が4社となり、また中堅証券会社とのプラットフォームビジネスも進展するなど、各プロジェクトは順調に進捗してきています。しかし、「Ambitious 5」で掲げた戦略を成功させるためには、さらなる経営努力が必要です。ここ数年、インターネット取引の浸透や少子高齢化といった社会的事象が一段と進行し、当社グループの経営環境は「Ambitious 5」策定時から劇的に変化してきています。こうした変化と「Ambitious 5」の方向性をどうマッチさせていくかをセカンドステージの重要な経営テーマと認識し、顧客基盤、人材、

システム、重点攻略分野などについて検証を行い、当社グループのあるべき姿を見直しました。その結果に基づき、「Ambitious 5」の基本理念は堅持しつつ、お客さまの利便性を高める新たな機能として、資産運用機能やネット銀行機能を早期に取り込む必要があると考えています。

ここまでご説明した当社グループの積極的な事業展開を支えているのが、中部地区という安定したマザーマーケットの存在です。当該地域における事業深耕と新たな取り組みのシナジーにより、<独自の存在感を持ったアジアのリーディングプレイヤー>への道をより確かなものにしていきたいと決意しています。

## 03.メッセージ

### 配当と企業成長の両面で、 株主さまのご期待に応えていく

当社グループでは、株主の皆さま、お客さま、社員、地域などのステークホルダーを企業発展に不可欠の存在と位置づけて

います。株主の皆さまに対しては、安定的な配当で利益還元を行うと同時に、将来、当社の株式を保有して良かったと思っただけのよう、持続的成長を通じた企業価値の向上に努めてまいります。

何卒、これまで同様のご支援・ご鞭撻を賜りますよう改めてお願い申し上げます。



### ▶当社グループの経営計画の推移

Change

2006-2009 Innovation Jump up 5

- コーポレートガバナンス／コーポレートカルチャーの改革
- ビジネスポートフォリオ/ビジネスモデルの改革
- ネットワークの改革
- 商品・サービスの改革
- 社員の役割及び生産性の改革

Expansion

2009-2012 TT Revolution

- 成長性
- 生産性
- コミュニケーション
- カスタマーロイヤルティ
- スーパーコミュニティハウス

New Stage

2012-2017 Ambitious 5

経営計画「Ambitious 5」～Leading Player in ASIAへの道～

Leading Player in ASIA

独自性ある総合金融グループとして「Ambitious 5」

1 Community & the Middle  
戦略的領域・顧客への特化

2 Alliance & Platform  
事業基盤の積極拡大

3 Expertise  
専門的ノウハウ

4 Humanity  
人間味溢れる企業

5 Risk Management  
危機対応力の強化

各分野の  
強みを  
拡大・強化

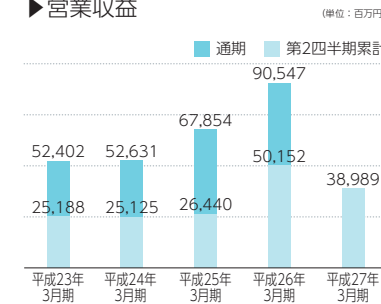
業績(連結)

(単位: 百万円)	平成26年3月期(第2四半期累計) (平成25年4月~平成25年9月)	平成27年3月期(第2四半期累計) (平成26年4月~平成26年9月)	前期比増減率 (%)
営業収益	50,152	38,989	▲22
受入手数料	32,021	21,638	▲32
委託手数料	14,912	9,468	▲36
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料	442	301	▲32
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	13,282	8,743	▲34
その他の受入手数料	3,384	3,125	▲8
トレーディング損益	16,752	15,533	▲7
金融収益	1,377	1,817	32
経常利益	20,165	12,929	▲36
四半期純利益	14,480	8,498	▲41

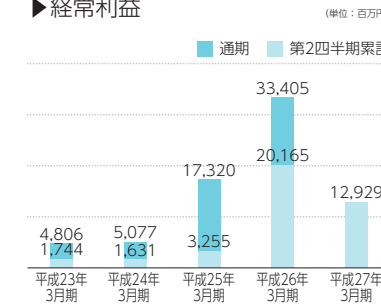
収益のポイント

日経平均株価は4月に14,800円台で始まった後、日銀の追加緩和見送りを嫌気して5月中旬まで14,000円前半で推移しましたが、5月下旬からは企業収益と比べた割安感、海外株式市場と比べた出遅れ感から見直されて反発しました。その後も6月下旬に発表された新成長戦略における法人実効税率の引き下げや公的年金の株式運用拡大、8月以降の円安などを好感し続伸、9月末の日経平均株価は16,173円で取引を終えました。このような環境の中、今上期は、比較対象としております前上期のうち、第1四半期が株式市況の活況などにより過去最高記録を更新した四半期であり、それを含む半期との比較になっていることもあり、営業収益は前期比22%減少しました。株式委託手数料、投資信託の募集・売出し等の取扱手数料及び代行手数料はいずれも減少しました。この結果、受入手数料は32%の減少となりました。トレーディング損益は、株券等のトレーディング損益が、外国株式の売買が好調だったことから増加しましたが、債券・為替等のトレーディング損益は減少し、全体では7%の減少となりました。

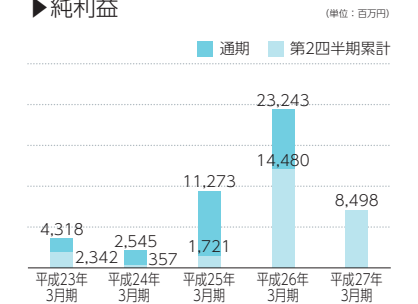
▶ 営業収益



▶ 経常利益



▶ 純利益

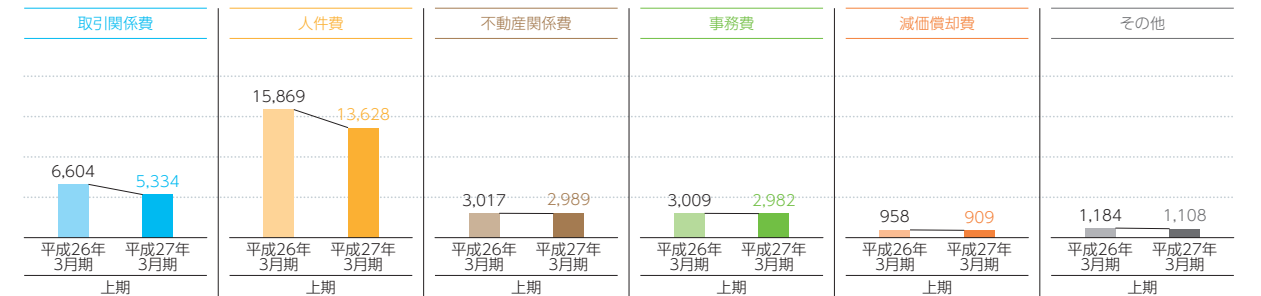


販売費及び一般管理費(連結)

(単位: 百万円)	平成26年3月期(第2四半期累計) (平成25年4月~平成25年9月)	平成27年3月期(第2四半期累計) (平成26年4月~平成26年9月)	前期比増減率 (%)
取引関係費	6,604	5,334	▲19
人件費	15,869	13,628	▲14
不動産関係費	3,017	2,989	▲1
事務費	3,009	2,982	▲1
減価償却費	958	909	▲5
その他	1,184	1,108	▲6
販売費及び一般管理費合計	30,644	26,952	▲12

費用のポイント

取引量減少に伴う支払手数料や広告宣伝費の減少などから取引関係費が前期比減少し、業績連動による賞与引当金の減少などから人件費も減少した結果、販売費及び一般管理費全体では、12%の減少となりました。



指標(連結)

	平成23年 3月期	平成24年 3月期	平成25年 3月期	平成26年 3月期	平成27年 3月期(中間期)
① 1株当たり当期純利益(円)	15.5	9.5	42.7	87.7	31.9
1株当たり年間配当金(円)	8.0	8.0	16.0	32.0	未定
内、中間配当金(円)	4.0	4.0	4.0	18.0	14.0
② 配当性向(%)	51.6	84.7	37.4	36.5	43.8
③ 配当利回り(%)	2.8	2.6	2.3	3.7	3.7*

※年率換算



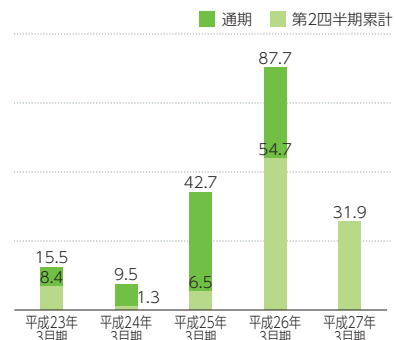
当中間期の配当は1株当たり14円とさせていただきます。その結果、配当性向は43.8%となりました。これからも、内部留保の充実に努めるとともに、安定的かつ適切な配当を実施することを基本としてまいります。

① 1株当たり当期純利益とは?

1株当たりの利益。1株当たり最終的にいくら利益があったかを表します。

▶ 1株当たり当期純利益 (単位:円)

31.9円 | 前年同期比 ▲41.6pt

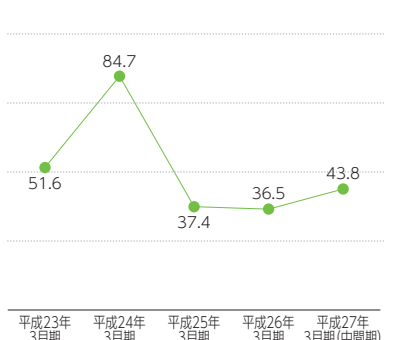


② 配当性向とは?

企業の利益(当期純利益)に対する配当金総額の占める割合のこと。

▶ 配当性向 (単位:%)

43.8% | 前年同期比 +10.9pt

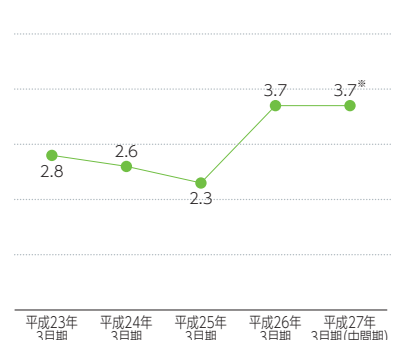


③ 配当利回りとは?

株価に対する年間配当金の割合のこと。

▶ 配当利回り (単位:%)

3.7% | 前年同期比 ▲0.7pt



※年率換算

東海東京証券では、投資家の皆さまにとって便利で魅力的な投資情報を提供するため様々な情報発信を行っております。株主の皆さまも当社投資情報施設やホームページをご利用ください。

投資情報施設 最新の投資情報やマーケット情報などを視覚的に体感できる空間(施設)

日本橋



東京駅のほど近くにあり、大型デジタルサイネージで、株価や為替などのマーケット情報などを配信、またギャラリー内ではタブレットによる資産形成シミュレーションなどを体感できます。

サカエチカ



名古屋市の中心部の栄地下街にあり、デジタルサイネージやタブレットなどを通じて各種コンテンツを体験できるほか、新たにタッチ式のサイネージプリンターで様々な投資情報を印刷することができます。

コンサルティングブース岡崎



愛知県岡崎市にあるイオンモール岡崎の1階入り口の横で「意外にお得」と最近、注目を集めている株主優待に関する情報を発信しています。

ホームページ 様々な情報ニーズに対応する豊富なコンテンツを掲載

動画で投資情報  
東海東京TV

最新のマーケットニュースや商品情報などをインターネットを通じて配信しています。

情報ニーズに対応した投資情報

大人の投資倶楽部

投資情報のほか、人生を愉しむためのライフスタイルをご提案しています。

乙女のお財布

投資初心者の女性向けに「楽しく」「わかりやすく」証券投資の基本を紹介しています。

<http://www.tokaitokyo.co.jp/> 東海東京証券 検索



## 4月～7月

### 愛知大学、名城大学にて 寄附講座を開催

愛知大学及び名城大学において平成26年度寄附講座を実施しました。「最前線から語る証券ビジネス」と題し、両大学で4月から講義をスタート。実際の証券ビジネスを題材とした身近な話題を提供しながら、資本市場に求められる証券会社の役割やその業務を理解してもらうことに主眼を置いた講義を行いました。7月11日、18日の両日には、当社副社長前村が講師を務め、「グローバル経済の中の証券経営戦略」と題した講義を行いました。受講生からは「経営者の生の声を聞くことができよかった」「証券業にとっても興味をもった」などの感想が聞かれました。CSR活動の一環として、今後もこのような寄附講座に協力してまいります。



## 8月

### 「JPX日経インデックス 400」の構成銘柄に追加

平成26年8月7日、「JPX 日経インデックス400」の銘柄入れ替えの追加・除外リストが公表され、当社が新たに構成銘柄に追加されました。本指数は平成26年1月から運用されている新しい株価指数で、銘柄入れ替えは毎年1回行われることになっており、初めての銘柄入れ替えが8月29日に行われました。

### ブアルアン証券(タイ)との 業務提携

当社は、タイにおいて、預金量で同国第1位の商業銀行であるバンコック銀行傘下の証券会社、ブアルアン証券と業務提携しました。これにより当社グループでは、タイ株式の取引強化及び同株式の投資情報の充実を図っています。一方、外国人投資家の日本株への関心の高まりから日本株の英文リサーチ資料へのニーズも増加しており、今般の業務提携においても双方向に協働事項を進める予定です。当社では今後も海外の金融機関との業務提携を進め、金融・証券に係る情報、商品供給ネットワークの一段の強化を推進し、お客さまの幅広い国際分散投資ニーズに応えていく方針です。



### 「日経IRフェア2014」に 出展

東京ビッグサイトで開催された日本経済新聞社主催「日経IRフェア2014」にブースを出展しました。IR担当者より当社のミニ会社説明会を実施するとともに、東海東京調査センターによる株式セミナーを開催しました。ブースへは毎回立見が出るほどたくさんの来場者がお集まりいただき、両日で約690名の皆さまにご参加いただきました。



## 8月～9月

### 個人投資家向け 会社説明会開催

横浜、大阪の各都市において、個人投資家向け会社説明会を開催し、2都市合計で約270名の方々にご出席いただきました。当社副社長 前村より「経営計画“Ambitious 5”の実現に向けて」と題し、グループの業績・特徴、“Ambitious 5”への取り組みについての講演を行いました。出席者は地方銀行との提携など、当社独自の経営戦略について熱心に耳を傾けておられました。今後ともこのような個人投資家向け説明会を全国主要都市で継続的に実施していく予定です。



# 全国に広がるサービスネットワークで、お客さまのニーズにお応えしています。

本店		
本店	〒450-6212 愛知県名古屋市中村区名駅4-7-1	052-527-1111
北海道・東北		
札幌	〒060-0003 北海道札幌市中央区北三条西4-1-4	011-231-7101
仙台	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-1-1 仙台セントラルビル3階	022-227-0231
関東		
東京本部	〒103-8275 東京都中央区日本橋3-6-2	03-3517-8600
日本橋プレミアオフィス	〒103-8275 東京都中央区日本橋3-6-2	03-3517-8308
東京営業部	〒103-8275 東京都中央区日本橋3-6-2	03-3517-8300
新浦安営業所	〒279-0012 千葉県浦安市入船1-5-2 NBF新浦安タワー16階	047-390-6311
東京投資アドバイザー部	〒104-8317 東京都中央区新川1-17-21 茅場町ファーストビル7階	03-3553-5031
大井町	〒140-0014 東京都品川区大井1-10-3	03-3778-1841
渋谷	〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マークシティ(ウェスト)18階	03-5457-8700
新宿	〒163-0902 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モリスビル2階	03-3349-8711
池袋	〒170-6003 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 3階	03-3981-1011
吉祥寺	〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町2-4-16	0422-22-8101
大宮	〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町2-26	048-644-1831
春日部	〒344-0067 埼玉県春日部市中央1-43-11	048-736-7111
所沢	〒359-1123 埼玉県所沢市日吉町9-22	04-2926-8111
船橋	〒273-0005 千葉県船橋市本町2-1-1 船橋スクエア21ビル2階	047-431-1771
甲信越・北陸		
甲府	〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2-30-2	055-235-8888
新潟	〒950-0087 新潟県新潟市中央区東大通1-3-10	025-247-4121
富山	〒930-0856 富山県富山市牛島新町5-5	076-444-1141
金沢	〒920-0919 石川県金沢市南町5-20	076-262-6451

愛知		
本店プレミア部	〒450-6212 愛知県名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア12階	052-527-1185
ミッドランド・プレミアオフィス	〒450-6212 愛知県名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア9階	052-527-1180
トヨタプレミア部	〒450-6212 愛知県名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア9階	052-527-1329
プレミアメディカル部	〒450-6212 愛知県名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア9階	052-527-1332
名古屋	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-6-1 栄三丁目ビルディング(ラシック)9階	052-264-1911
投資アドバイザー部	〒461-0004 愛知県名古屋市中区葵1-19-30 マザック アートプラザ オフィス棟5階	052-979-8333
今池	〒464-0850 愛知県名古屋市中区今池1-8-20	052-741-8611
新瑞橋	〒467-0806 愛知県名古屋市中区瑞穂区瑞穂通8-27	052-852-1281
鳴海	〒458-0801 愛知県名古屋市中区鳴海鳴海町字矢切58-1	052-895-1711
藤が丘	〒465-0032 愛知県名古屋市中区東区藤が丘142-7	052-777-1511
八事	〒468-0076 愛知県名古屋市中区八事石坂506-1	052-861-1888
天白	〒468-0015 愛知県名古屋市中区天白区原1-2001	052-805-1311
一宮	〒491-0859 愛知県一宮市本町4-6-7	0586-73-1121
木曽川	〒493-0001 愛知県一宮市木曽川町黒田字古城17-12	0586-87-3101
小牧	〒485-0029 愛知県小牧市中央1-293	0568-75-1411
春日井	〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町6-55-1	0568-82-1411
瀬戸	〒489-0044 愛知県瀬戸市栄町45 パルティセと2階	0561-97-3366
半田	〒475-0858 愛知県半田市泉町11-1	0569-23-7111
岡崎	〒444-0051 愛知県岡崎市本町通2-16	0564-25-1211
豊田	〒471-0025 愛知県豊田市西町6-61	0565-34-3111
刈谷	〒448-0028 愛知県刈谷市桜町2-32	0566-22-8111
安城	〒446-0041 愛知県安城市桜町17-5	0566-74-5011
碧南	〒447-0876 愛知県碧南市野田町6	0566-42-5011
西尾	〒445-0064 愛知県西尾市高島町3-75-5	0563-57-8300
豊橋	〒440-0888 愛知県豊橋市駅前大通1-55 ココロフロント4階	0532-54-6111
田原営業所	〒441-3421 愛知県田原市田原町葉出5-1	0531-24-0511

豊川	〒442-0068 愛知県豊川市諏訪2-243	0533-84-2221
蒲郡	〒443-0043 愛知県蒲郡市元町6-1	0533-68-1911
トヨタFS営業部		
メグリア三好営業所	〒470-0208 愛知県みよし市ひばりヶ丘2-1-5 メグリア三好店	0561-33-0733
メグリア本店内営業所	〒471-0833 愛知県豊田市山之手8-92 メグリア本店3階	0565-26-7055
イオンモール東浦内営業所	〒470-2102 愛知県知多郡東浦町大字緒川字旭13-2 イオンモール東浦	0562-82-2191
トヨタFS岡崎営業所	〒444-0051 愛知県岡崎市本町通2-16(岡崎支店内)	0564-72-4887
東海		
静岡	〒420-0852 静岡県静岡市葵区紺屋町4-8	054-253-7131
浜松	〒430-0935 静岡県浜松市中区伝馬町311-14	053-456-8711
岐阜	〒500-8833 岐阜県岐阜市神田町9-27	058-265-6111
多治見	〒507-0033 岐阜県多治見市本町3-101-1 クリスタルプラザ多治見2階	0572-25-1151
中津川	〒508-0033 岐阜県中津川市太田町2-4-6	0573-66-1621
大垣	〒503-0887 岐阜県大垣市郭町2-25	0584-74-9711
桑名	〒511-0079 三重県桑名市有楽町65	0594-23-2611
四日市	〒510-0074 三重県四日市市鶴の森1-3-23	059-352-5171
三重中央	〒514-0009 三重県津市羽所町官有地 JR津駅「津チャム」地下1階	059-227-5361
近畿		
京都	〒600-8492 京都府京都市下京区四条通新町東入ル月鉾町62	075-221-7201
大阪	〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町1-7-1	06-6231-9251
和歌山	〒640-8033 和歌山県和歌山市本町4-45	073-431-5171
中国・四国		
岡山	〒700-0903 岡山県岡山市北区幸町8-22	086-224-8181
高松出張所	〒760-0027 香川県高松市紺屋町9-6 高松大同生命ビル4階	087-823-1511
松山	〒790-0003 愛媛県松山市三番町4-12-7	089-931-8531
高知	〒780-0870 高知県高知市本町2-2-27	088-822-7105

九州		
熊本	〒860-0844 熊本県熊本市中央区水道町1-23	096-354-6401
宮崎	〒880-0805 宮崎県宮崎市橋通東4-1-4	0985-26-8011
鹿児島	〒892-0844 鹿児島県鹿児島市山之口町1-10 鹿児島中央ビル10階	099-222-4161
西日本営業部	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-12-1 日之出福岡ビル9階	092-761-3451
東海東京フィナンシャルギャラリー・日本橋	〒103-8275 東京都中央区日本橋3-6-2	
東海東京フィナンシャルギャラリー・サカエチカ	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-4-6 先サカエチカ	
トヨタFS営業部 コンサルティングブース岡崎	〒444-0840 愛知県岡崎市戸崎町字外山38-5 イオンモール岡崎1階	0564-72-6230
カスタマーサポートセンター		
NISAお問合せダイヤル	<b>0120-748-104</b> [ 平日 ] 9 : 00 ~ 17 : 00 [ 土・日・祝・年末年始 ] 休	
資料請求・お問合せダイヤル	<b>0120-746-104</b> [ 平日 ] 8 : 00 ~ 18 : 00 [ 土 ] 9 : 00 ~ 15 : 00 [ 日・祝・年末年始 ] 休	
かんたんダイレクトサービスダイヤル	<b>0120-848-104</b> [ 平日 ] 8 : 00 ~ 18 : 00 [ 土・日・祝・年末年始 ] 休	
株価照会ダイヤル【自動音声】	<b>0120-808-104 / 携帯 : 058-269-3011 (通話有料)</b> 24時間対応	
職域・仲介専用ダイヤル	<b>0800-500-0100 / 携帯 : 058-267-1512 (通話有料)</b> [ 平日 ] 8 : 00 ~ 18 : 00 [ 土・日・祝・年末年始 ] 休	
乙女のお財布ダイヤル	<b>0120-567-010</b> [ 平日 ] 9 : 00 ~ 18 : 00 [ 土・日・祝・年末年始 ] 休	

## 会社概要

(平成26年9月30日現在)

会社名	東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社	
英文社名	Tokai Tokyo Financial Holdings, Inc.	
設立年月日	昭和4年6月19日	
資本金	360億円	
従業員人数	124名(臨時社員10名・派遣社員2名を含んでおりません)	
連結ベース従業員人数	2,432名 (投資アドバイザー及びアセットアドバイザー31名、臨時社員244名、派遣社員101名を含んでおりません)	
グループ会社	東海東京証券 宇都宮証券 東海東京アセットマネジメント 東海東京SWPコンサルティング 東海東京インベストメント 東海東京調査センター 東海東京アカデミー 東海東京サービス 東海東京ビジネスサービス	東海東京証券香港 東海東京証券ヨーロッパ 東海東京証券アメリカ 東海東京シンガポール ワイテム証券 浜銀TT証券 西日本シティTT証券 池田泉州TT証券

## 役員

(平成26年10月1日現在)

【取締役及び監査役】	【執行役員】
代表取締役社長 最高経営責任者	専務執行役員
代表取締役副社長	専務執行役員
取締役専務執行役員	常務執行役員
取締役	常務執行役員
取締役	執行役員
取締役	執行役員
取締役	執行役員
常勤監査役	執行役員
監査役	執行役員
監査役	
監査役	
監査役	

(注) 取締役のうち鈴木郁雄、森末暢博、水野一郎、説田公人の4氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。  
(注) 監査役のうち鈴木郁雄、田中一好、木下栄一郎の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

## 株式情報

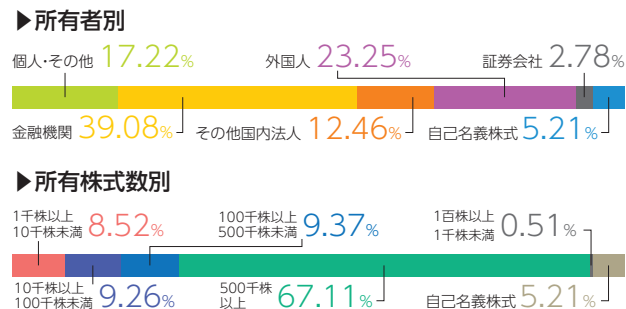
(平成26年9月30日現在)

発行可能株式総数	972,730,000株
発行済株式総数	280,582,115株
発行済株式総数(自己株式除く)	265,955,974株
株主数	18,183名

大株主	持株数(株)	持株比率(%)
三井住友海上火災保険株式会社	17,283,798	6.50
トヨタファイナンシャルサービス株式会社	14,280,000	5.37
株式会社三菱東京UFJ銀行	12,016,853	4.52
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,698,100	4.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,647,600	3.25
株式会社横浜銀行	7,014,553	2.64
ノーザン トラスト カンパニー(エイブイエフシー)アカウント ノン トリーティー	6,842,262	2.57
日本生命保険相互会社	5,611,890	2.11
三井住友信託銀行株式会社	4,800,000	1.80
明治安田生命保険相互会社	4,406,000	1.66

(注) 1. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式を控除した数に基づき算出しております。  
2. 上記のほか、当社が保有しております自己株式14,626,141株があります。

## 株式の分布状況



## 株主メモ

(平成26年9月30日現在)

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
剰余金の配当	3月31日
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日
	剰余金の配当 3月31日
	中間配当
	中間配当を実施する場合は、取締役会の決議により、9月30日の最終の株主名簿に記録された株主さままたは登録株式質権者に対してお支払いします。
公告方法	電子公告により行います。 (当社ホームページ <a href="http://www.tokaitokyo-fh.jp/">http://www.tokaitokyo-fh.jp/</a> に掲載) なお、やむを得ない事由により電子公告による公告が行えない場合には、日本経済新聞及び中日新聞に掲載する方法により行います。 決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書は、EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)のホームページからご覧いただけます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

## ！「特別口座」について

株券電子化実施(平成21年1月5日)に際し、証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構(ほふり)に株券を預託されなかった株主さまの「お名前」「ご住所」などのデータは、当社が三井住友信託銀行に開設した『特別口座』に記録されております。特別口座の詳細につきましては、三井住友信託銀行にお申出ください。

## 住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行にお申出ください。

## 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行にお申出ください。

## ！「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

※確定申告を行う株主さまは、大切に保管ください。

【各種お問合せ先】  
照会先 フリーダイヤル **0120-782-031** [平日9:00~17:00]